

石巻出身・大島さん著作

ロシアに消えた
サーカス芸人追う

石巻市出身のノンフィ

クション作家で、石巻若

宮丸漂流民の会事務局長

の大島幹雄さん59歳が、

浜市が、海を渡った謎

の一座の足跡をたどった

ドキュメント本「明治の

サーカス芸人はなぜロシ

アに消えたのか」を写真

を著した。

大島さんの本職は、海

外からサーカスや道化師

を招へいし、日本でプロ

デュースしているサーカ

ス・プロモーター。

本書は、大島さんのサ

ーカスに対する情熱から

生まれた一冊。1988

年2月、崩壊直前のソ連

で、日本人のサーカス芸

人が写っている3枚の写

海外で最も有名だった日

真と出会ったのが全ての
始まり。

1910明治43年、

ロシアに渡りヨーロッパ

中を魅了したヤマダサー

カス一座に参加していた

3人の消息を探し出す旅

である。

関係者への取材や外国

旅券などの資料調査から

大島さんがたどり着いた

真実は、ロシア革命とい

う20世紀最大の事変に翻

弄(ほんろう)された3

人の運命である。当時、

海外で最も有名だった日

明治の

サーカス芸人は

なぜロシアに

消えたのか

本人一座ヤマダサーカス
の全ぼうに迫る。

大島さんは「3枚の写

真と出会ってから25年目

にしてようやく一冊の本

にすることができた。戦

争、革命、粛清という過

酷な歴史の渦に巻き込ま

れながらも、自由に生き

ようとしたサーカス芸人

の精神に触れた思いだ」

と語る。

現在、名取市で公演し
ている木下大サーカスの

誕生についても記してい

る。ロシアと大きな関わ

りを持っていたことが分

かり興味深い。

最近の著書に「サーカ

スは私の(大学)だった」

(こぶし書房)がある。

「明治のサーカス芸人

はなぜロシアに消えたの

か」は祥伝社(東京)発

行。四六判、252頁。

定価1680円。

空中ブランコ講演

「サーカス学講座」が

22日午後7時から東京・

北区の古書カフェくしゃ

まんべで開講。第1回は

「空中ブランコの愛と科

学」で、大島さんが講師

を務める。参加費100

0円。